

産業廃棄物処理計画書

令和5年7月24日

群馬県知事 様

提出者 〒379-1307
住 所 群馬県利根郡みなかみ町政所1010

氏 名 マルサンアイ株式会社 関東工場
取締役社長 塚 信好

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 （0278）20-2303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	マルサンアイ株式会社 関東工場
事業場の所在地	群馬県利根郡みなかみ町政所1010
計画期間	令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E09：食料品製造業
②事業の規模	38億3千万円
③従業員数	59人（委託含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>製造工程で発生する産業廃棄物</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙のとおり			
※ 添付資料 環境組織			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	4087.215 t	50.062 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・排水処理場への負荷低減に努めている。 ・歩留の向上と廃棄紙パックの減少に取り組んでいる。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	3885 t	48 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・生産設備の更新および定期点検を行ない排水処理量を削減する。 ・排水処理場、汚泥脱水機の機能確認。 ・排水処理の効率化を図る。 ・廃棄紙パックのリサイクル向上。 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・7項目に分別して管理している。 ・環境保全委員会を実施して、リサイクル率の向上を図る。 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・分別方法を適時見直し、有償物量、再生利用量を増加させる。 		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 4 年度）実績】			
金属くず	動植物性残さ	廃油	
1.96 t	720.95 t	1 t	t
<ul style="list-style-type: none"> ・オカラ乾燥設備の更新やメンテナンスによる処理効率向上化。 ・生オカラ有償化ルート of 構築。 			
【目標】			
金属くず	動植物性残さ	廃油	
1.95 t	685 t	1 t	t
<ul style="list-style-type: none"> ・オカラ乾燥設備のメンテナンスを行い植物性残さの安定処理に努める。 ・生オカラ有償化の増量。 			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3178.945 t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥は脱水処理により減量化している。 ・ 凝集剤の変更。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3020 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 凝集剤添加量の見直しを行い、含水率低下を図る。 			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	908.27 t	50.062 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	34.872 t
	再生利用業者への処理委託量	908.27 t	34.872 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) リサイクル率向上のため、出来る限り再生利用業者へ委託処理を行ない、最終処分量の削減を図った。 優良認定業者への委託。		

t	t	t	t

t	t	t	t

金属くず	動植物性残さ	廃油	
1.96 t	720.95 t	1 t	t
t	t	t	t
1.96 t	720.95 t	1 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	863 t	48 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	34 t
	再生利用業者への処理委託量	863 t	34 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償物量、再生使用量を増加させる。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。 ・優良認定処理業者を選定するようにする。 			
※事務処理欄			

金属くず	動植物性残さ	廃油	
1.95 t	685 t	1 t	t
t	t	t	t
1.95 t	685 t	1 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t